

令和7年2月26日発表

令和7年度

今年のむらづくり
～当初予算の概要～



愛知県海部郡飛島村

目次

1	当初予算編成について	P. 2
	（1）予算編成のポイント	P. 2
	（2）会計別予算規模	P. 2
2	一般会計予算の概要	P. 3
	（1）歳入	P. 3
	（2）歳出〔目的別〕	P. 5
	（3）歳出〔性質別〕	P. 7
3	令和7年度の主要事業	P. 9
4	一般会計の財政数値の推移	P. 3 2
5	用語説明	P. 3 3
6	一般会計の財政状況	P. 3 5

1 当初予算編成について

(1) 予算編成のポイント

- 「災害に強い」「活気」「魅力」「人づくり」をむらづくりのテーマとし、社会情勢の変化や住民の多様なニーズに対応するため、新規事業への着手・既存事業の拡充を予算に盛り込みました。
- 令和7年度は、「第5次飛島村総合計画」の3年目となる年です。計画に掲げる施策を軌道に乗せ、事業遂行見通しを立てるため、基本計画及び実施計画との整合性を図りました。
- 旧中学校野球場跡地（竹之郷地区）を活用した住宅地開発のための造成工事を行います。（工期：R7.6～R8.10）
- 地球温暖化等の気候変動に対応し、安全・快適な教育環境及び災害時に避難所となった際の生活環境の整備のため、飛島学園アリーナ（体育館）の空調設置工事を実施します。

(2) 会計別予算規模

(単位：千円、%)

会計名	令和7年度	令和6年度(補正後)	増減額	増減率
一般会計	6,297,000	6,132,794	164,206	2.7
特別会計	1,292,250	1,367,900	△ 75,650	△ 5.5
国民健康保険	530,000	534,000	△ 4,000	△ 0.7
土地取得	10,690	10,500	190	1.8
介護保険	563,240	552,130	11,110	2.0
保険事業勘定	562,641	551,380	11,261	2.0
サービス事業勘定	599	750	△ 151	△ 20.1
後期高齢者医療	119,820	116,870	2,950	2.5
宅地造成事業	68,500	154,400	△ 85,900	△ 55.6
公営企業会計	466,870	478,023	△ 11,153	△ 2.3
農業集落排水処理事業	466,870	478,023	△ 11,153	△ 2.3
合計	8,056,120	7,978,717	77,403	1.0

《予算規模》

一般会計は、62億9,700万円で、前年度に比べ1億6,420万円(+2.7%)増加しました。
特別会計及び公営企業会計を含めた当初予算の総額は、80億5,612万円で、前年度に比べ7,740万円(+1.0%)増加しました。

※原則、1万円未満は、切り捨てて表記している。

※以下、予算対比は、令和6年度予算が骨格予算であったため、肉付け後の実質的予算にあたる4月補正後との対比をしています。

2 一般会計予算の概要

(1) 歳入

〈内訳〉

(単位：千円、%)

《特徴》

○村税の増

- ・村民税及び固定資産税の増額

○繰入金の減

- ・基金繰入金（地域整備基金）の減額

〈村税内訳〉

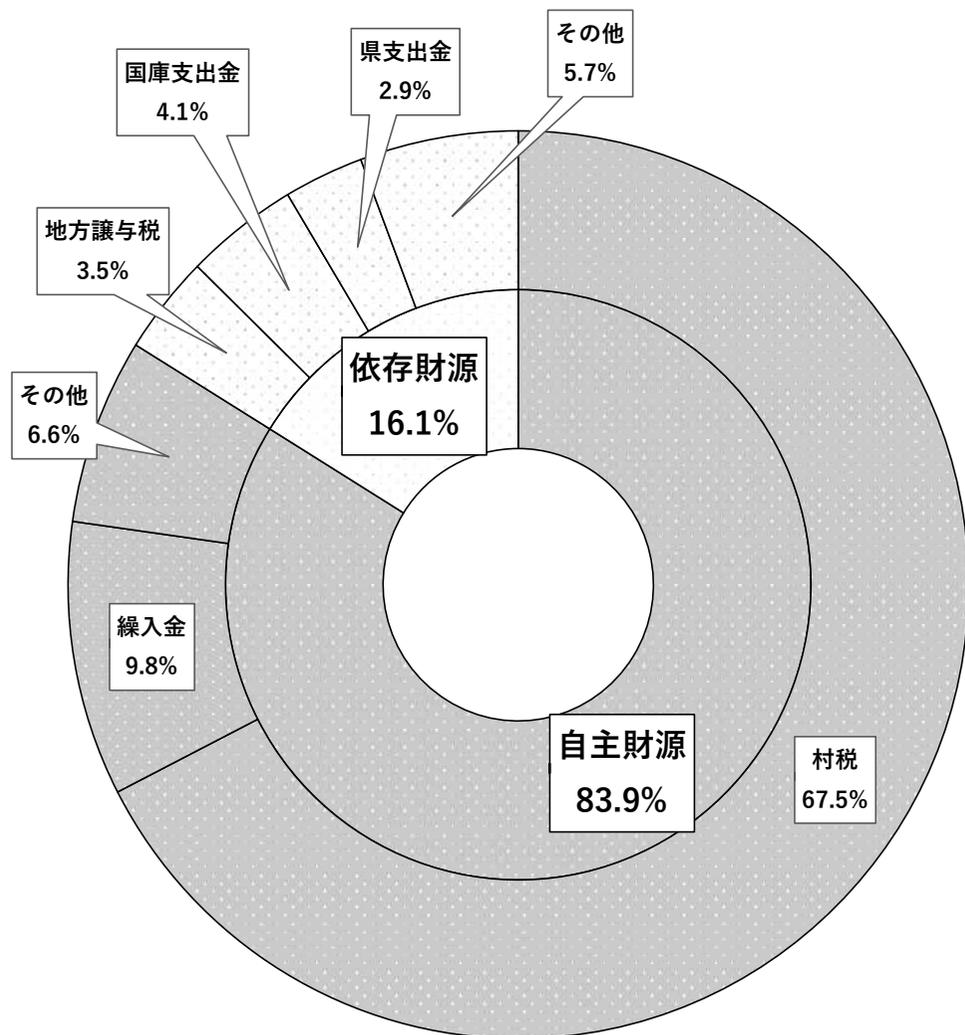
(単位：千円、%)

区分	令和7年度		令和6年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
村民税	731,872	17.2	656,401	16.3	75,471	11.5
個人	291,871	6.9	265,400	6.6	26,471	10.0
法人	440,001	10.4	391,001	9.7	49,000	12.5
固定資産税	3,405,234	80.2	3,257,639	80.9	147,595	4.5
軽自動車税	17,602	0.4	17,342	0.4	260	1.5
村たばこ税	85,000	2.0	90,000	2.2	△ 5,000	△ 5.6
特別土地保有税	1	0.0	1	0.0	0	0.0
入湯税	8,200	0.2	7,800	0.2	400	5.1
計	4,247,909	100.0	4,029,183	100.0	218,726	5.4

区分	令和7年度		令和6年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
自主財源	5,280,082	83.9	5,181,830	84.5	98,252	1.9
村税	4,247,909	67.5	4,029,183	65.7	218,726	5.4
分担金及び負担金	44,159	0.7	45,305	0.7	△ 1,146	△ 2.5
使用料及び手数料	64,434	1.0	59,193	1.0	5,241	8.9
財産収入	39,834	0.6	140,931	2.3	△ 101,097	△ 71.7
寄附金	300	0.0	300	0.0	0	0.0
繰入金	615,167	9.8	717,716	11.7	△ 102,549	△ 14.3
繰越金	100,000	1.6	100,000	1.6	0	0.0
諸収入	168,279	2.7	89,202	1.5	79,077	88.6
依存財源	1,016,918	16.1	950,964	15.5	65,954	6.9
地方譲与税	221,770	3.5	202,480	3.3	19,290	9.5
利子割交付金	510	0.0	300	0.0	210	70.0
配当割交付金	6,200	0.1	5,200	0.1	1,000	19.2
株式等譲渡所得割交付金	5,400	0.1	4,100	0.1	1,300	31.7
法人事業税交付金	85,000	1.3	87,000	1.4	△ 2,000	△ 2.3
地方消費税交付金	237,000	3.8	186,000	3.0	51,000	27.4
環境性能割交付金	16,200	0.3	15,800	0.3	400	2.5
地方特例交付金	5,001	0.1	22,141	0.4	△ 17,140	△ 77.4
地方交付税	1	0.0	1	0.0	0	0.0
交通安全対策特別交付金	2,500	0.0	3,130	0.1	△ 630	△ 20.1
国庫支出金	256,650	4.1	247,612	4.0	9,038	3.7
県支出金	180,686	2.9	177,200	2.9	3,486	2.0
合計	6,297,000	100.0	6,132,794	100.0	164,206	2.7

※ 構成比は、小数点第二位を四捨五入しているため、各欄で整合が取れない場合がある。

〈構成比〉



※端数処理により、内訳と合計が一致しない場合がある。

〈主な財源・増減要因〉

○自主財源：52億8,008万円（増減率：+1.9%）

村税は、42億4,790万円（+5.4%）となりました。そのうち、個人村民税は2億9,187万円（+10.0%）、法人村民税は4億4,000万円（+12.5%）、固定資産税は34億523万円（+4.5%）、軽自動車税は1,760万円（+1.5%）となりました。個人住民税は、前年度に実施された国の施策である定額減税の影響がなくなることから増加しました。固定資産税は、令和6年度評価替（公示価格等の上昇）の影響により増額となりました。

繰入金は、6億1,516万円（△14.3%）となりました。主に財源不足等に対応するための財政調整基金から2億111万円、公共施設等の整備のための地域整備基金から4億1,265万円を取り崩します。前年度から減額した要因は、飛島聖苑の大規模改修工事などの財源として、地域整備基金を多く取り崩す予算編成をしていたためです。

○依存財源：10億1,691万円（増減率：+6.9%）

依存財源は、国から譲与される地方譲与税や地方消費税交付金を始めとした愛知県から交付される県税交付金の増により増加となりました。

地方特例交付金は、500万円（△77.4%）となりました。前年度に実施された国の施策である定額減税の減収相当分の補填がなくなったことから大きく減額となりました。

※原則、1万円未満は、切り捨てて表記している。

(2) 歳出 [目的別]

《特徴》

「災害に強い・活気・魅力・人づくりの村」
を創造するため、各費目へ予算配分

○民生費【構成比：24.6%】

障害者援護事業 約1.7億円
児童手当支給事業 約1.2億円
子ども・子育て支援給付事業 約1.2億円

○総務費【構成比：23.2%】

公共交通バス利用促進事業 約1.6億円
基幹業務システム機器管理事業 約1.5億円
庁舎等維持管理事業 約1.5億円

○教育費【構成比：14.3%】

学園施設維持管理事業 約1.6億
教育振興事業 約1.2億円
温水プール維持管理事業 約0.7億円

○衛生費【構成比：10.2%】

すこやかセンター管理事業 約1.3億円
リサイクル事業 約0.8億円
一般塵芥処理事務事業 約0.6億円

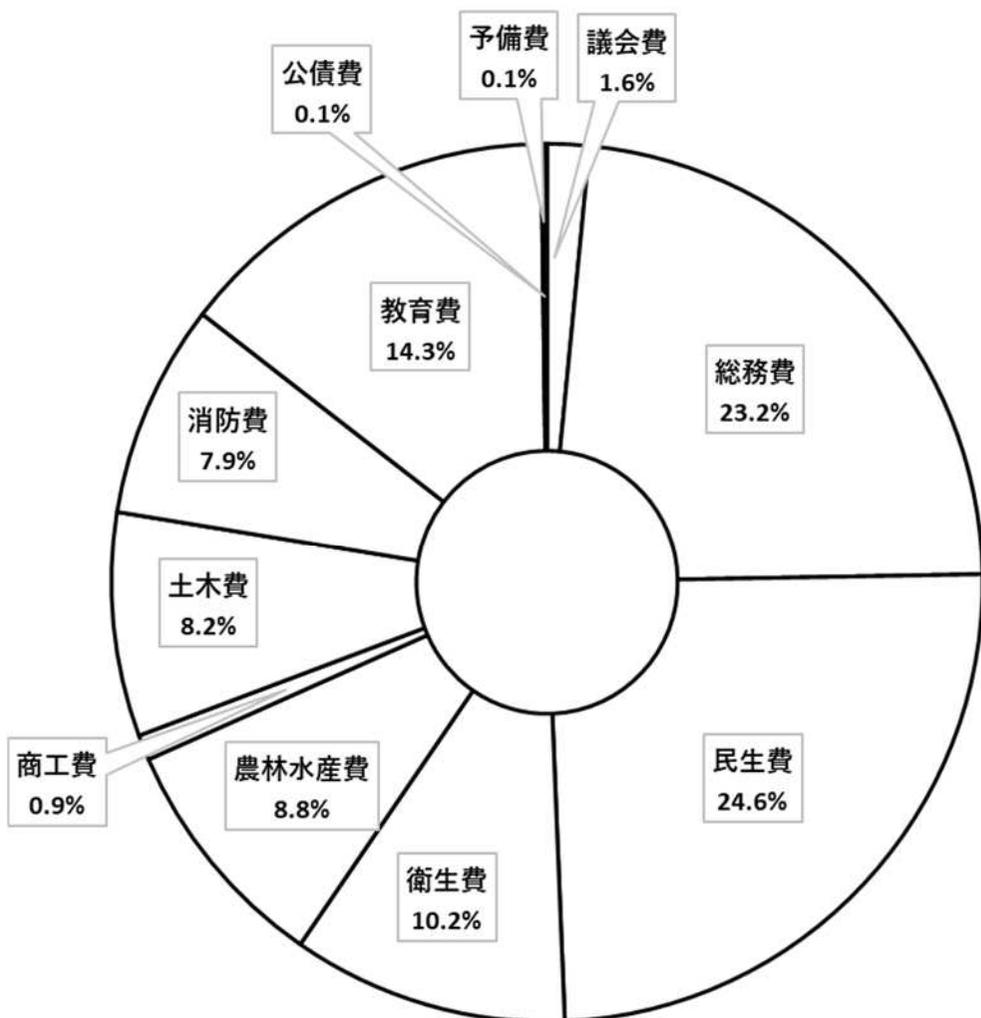
〈内訳〉

(単位：千円、%)

区分	令和7年度		令和6年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
議会費	98,159	1.6	92,314	1.5	5,845	6.3
総務費	1,458,869	23.2	1,117,775	18.2	341,094	30.5
民生費	1,550,616	24.6	1,486,871	24.2	63,745	4.3
衛生費	644,578	10.2	1,120,101	18.3	△ 475,523	△ 42.5
農林水産費	554,141	8.8	438,218	7.1	115,923	26.5
商工費	58,540	0.9	50,795	0.8	7,745	15.2
土木費	519,501	8.2	653,437	10.7	△ 133,936	△ 20.5
消防費	497,937	7.9	422,526	6.9	75,411	17.8
教育費	901,213	14.3	737,303	12.0	163,910	22.2
公債費	7,446	0.1	7,454	0.1	△ 8	△ 0.1
予備費	6,000	0.1	6,000	0.1	0	0.0
合計	6,297,000	100.0	6,132,794	100.0	164,206	2.7

※構成比は、小数点第二位を四捨五入しているため、各欄で整合が取れない場合がある。

〈構成比〉



※端数処理により、内訳と合計が一致しない場合がある。

〈主な事業・増減要因〉

○総務費：14億5,886万円（増減率：+30.5%）

村公式ホームページの再構築委託2,240万円、イルミネーション会場の拡充などに伴う飛島村観光交流協会への補助金の増、飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会（飛島バス等）への補助金の増などにより増額（+3億4,109万円）となりました。

○衛生費：6億4,457万円（増減率：△42.5%）

前年度に飛島聖苑大規模改修工事関連経費4億40万円を計上していたことにより大きく減額（△4億7,552万円）となりました。今年度は、すこやかセンターWi-Fi設置工事284万円、南部エコプラザ建設関連経費5,771万円、子育て支援アプリ導入関係経費66万円などを計上しています。

○土木費：5億1,950万円（増減率：△20.5%）

前年度に運動の森公園整備基本計画策定支援委託1,462万円を計上していたことと、宅地造成事業特別会計への貸付金及び繰出金（主に土地取得費）の減により減額（△1億3,393万円）となりました。今年度は、ふれあいの郷再編のためのアドバイザー委託2,701万円などを実施します。

○教育費：9億121万円（増減率：+22.2%）

飛島学園アリーナ（体育館）の空調設置工事関連経費1億3,926万円、飛島学園のタブレット端末等のICT機器更新関連経費8,240万円などにより（+1億6,391万円）となりました。

※原則、1万円未満は、切り捨てて表記している。

(3) 歳出 [性質別]

《特徴》

○義務的経費の増

・人件費の増 +約0.8億円

①給与・地域手当改定 +0.5億円

②職員数の増

○投資的経費の減

R6 飛島聖苑大規模改修工事
関連経費 △4.0億円

R7 飛島学園A-1(体育館)空調設
置工事関連経費 +1.3億円

○その他経費の増

・物件費、補助費等の増

①人件費高騰等に伴う委託料の増
+1.2億円

②飛島土地改良区への補助金
+0.5億円

※補助費等と繰出金の増減の大部分は、
経費区分を見直したことによる影響による

〈内訳〉

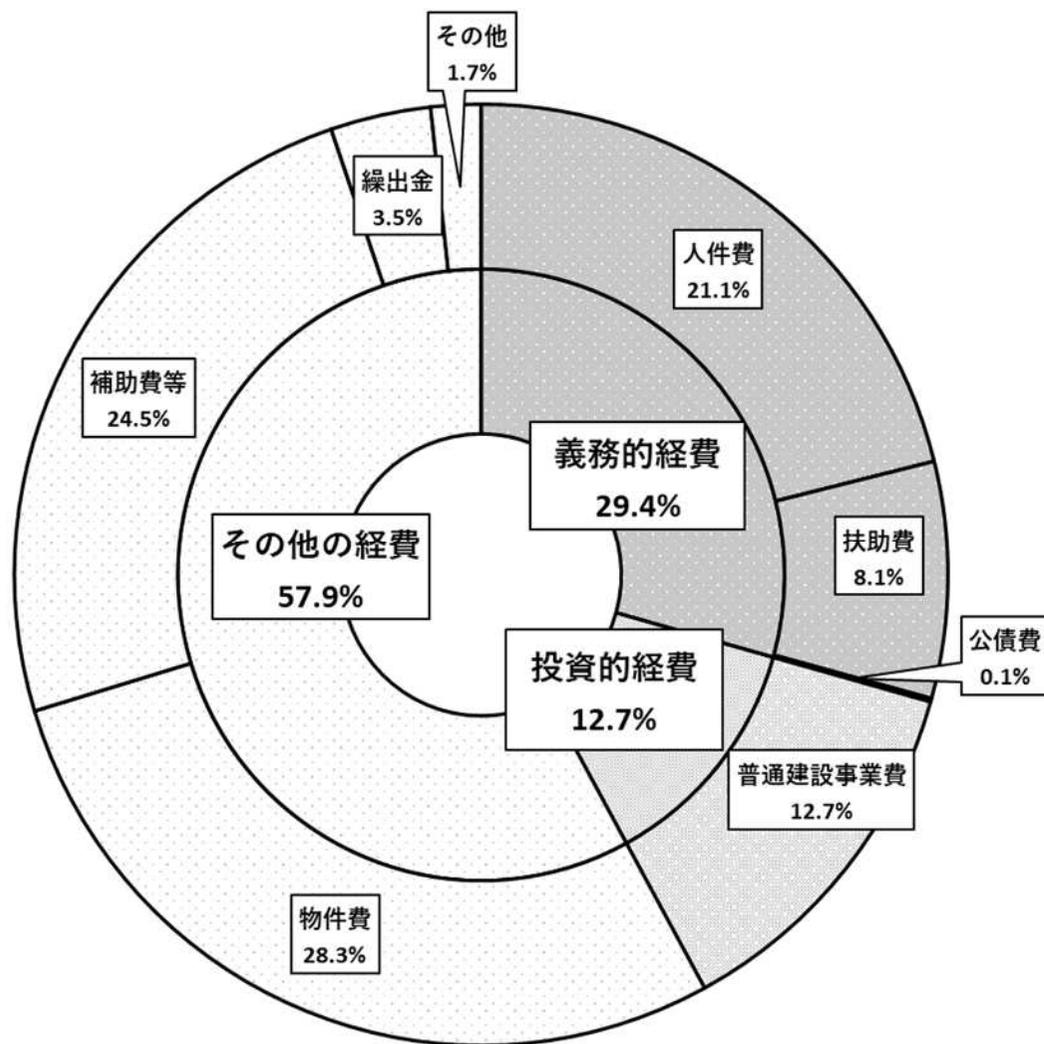
(単位：千円、%)

区分	令和7年度		令和6年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	1,848,689	29.4	1,755,257	28.6	93,432	5.3
人件費	1,329,312	21.1	1,239,642	20.2	89,670	7.2
扶助費	511,931	8.1	508,161	8.3	3,770	0.7
公債費	7,446	0.1	7,454	0.1	△ 8	△ 0.1
投資的経費	799,678	12.7	941,238	15.3	△ 141,560	△ 15.0
普通建設事業費	799,678	12.7	941,238	15.3	△ 141,560	△ 15.0
補助事業費	8,573	0.1	15,103	0.2	△ 6,530	△ 43.2
単独事業費	720,889	11.4	887,255	14.5	△ 166,366	△ 18.8
県営事業負担金	70,216	1.1	38,880	0.6	31,336	80.6
その他の経費	3,648,633	57.9	3,436,299	56.0	212,334	6.2
物件費	1,779,718	28.3	1,651,566	26.9	128,152	7.8
補助費等	1,540,743	24.5	1,205,502	19.7	335,241	27.8
繰出金	219,057	3.5	458,930	7.5	△ 239,873	△ 52.3
その他	109,115	1.7	120,301	2.0	△ 11,186	△ 9.3
合計	6,297,000	100.0	6,132,794	100.0	164,206	2.7

※ 構成比は、小数点第二位を四捨五入しているため、各欄で整合が取れない場合がある。

※ その他の経費のその他とは、維持補修費、積立金、貸付金及び予備費をいう。

〈構成比〉



※端数処理により、内訳と合計が一致しない場合がある。

〈主な事業・増減要因〉

○義務的経費：18億4,868万円（増減率：+5.3%）

人件費は、13億2,931万円（+7.2%）となりました。これは、給与の増額改定、地域手当の改定（6%→7%）及び職員数の増によるものです。

扶助費は、5億1,193万円（+0.7%）となりました。令和6年10月から拡充となった児童手当の通年化などにより増額（+377万円）となりました。

○投資的経費：7億9,967万円（増減率：△15.0%）

前年度に飛島聖苑大規模改修工事関連経費4億40万円を計上していたため減額となりました。今年度は、主な事業として、敬老センタートイレ改修工事1,980万円、南部エコプラザ整備工事関連経費5,771万円、飛島学園アリーナ（体育館）空調設置工事関連経費1億3,926万円などを計上しています。

○その他の経費：36億4,863万円（増減率：+6.2%）

物件費は、17億7,971万円（+7.8%）となりました。移動系防災無線更新関連経費804万円、村公式ホームページ再構築委託2,240万円、ふれあいの郷再編のためのアドバイザー委託2,701万円、飛島学園ICT機器更新関連経費8,240万円などにより増額（+1億2,815万円）となりました。

また、補助費等で観光交流協会への補助金、物価高騰対策商品券、プレミアム付き商品券発行事業の支援を継続実施して、活気のあるむらづくりを進めていきます。

※原則、1万円未満は、切り捨てて表記している。

3 令和7年度の主要事業

※各事業の予算額は、1万円未満を切り捨てて表記している。

○災害に強いむらづくり

①移動系行政防災無線を更新します

P.11

○活気のあるむらづくり

①村公式ホームページをリニューアルします

P.12

②すこやかセンターにWi-Fiを設置します

P.13

③観光交流協会による賑わいのある村づくりを行います

P.14

④ふれあいの郷を観光交流拠点として再編するための整備方針を決定します

P.15

⑤全世帯へ1万円分の商品券を配布します

P.16

⑥プレミアム付き商品券発行事業を支援します

P.17

⑦新たに農業を始める方を支援します

P.18

⑧役場北側駐車場の舗装を直します

P.19

○魅力のあるむらづくり

- | | |
|-----------------------|------|
| ①敬老センターのトイレを改修します | P.20 |
| ②エコプラザの複数拠点化を実施します | P.21 |
| ③新規住宅地開発のための造成工事を行います | P.22 |
| ④図書館において様々なイベントを実施します | P.23 |

○人づくりによるむらづくり

- | | |
|--|------|
| ①飛島学園体育館の空調設置工事を行います | P.24 |
| ②飛島学園のICT機器を更新します | P.25 |
| ③飛島学園の英語教育を充実させます | P.26 |
| ④中学2年生を対象とした海外派遣事業を実施します | P.27 |
| ⑤減農薬野菜（特別栽培農産物）や無添加食材を積極的に使用した給食を提供します | P.28 |
| ⑥「いきがい教育講演会」を実施します | P.29 |
| ⑦子育て支援アプリを導入します | P.30 |
| ⑧村からの発信情報を多言語化対応します | P.31 |

～災害に強いむらづくり①～

《新規》移動系行政防災無線を更新します【総務課】

○事業名・予算 防災設備維持管理事業 防災無線設置委託 703万円
 通信運搬費（9か月分） 101万円

○概要 本村では、同報系無線と移動系無線の2種類の防災無線設備を構築しています。

このうち、移動系無線は平成22年度の更新から10年以上が経過しており、より強固な通信手段とするため、機器を更新します。

後継機は、能登半島地震の経験を踏まえ、被災時に復旧が遅れる従来の自営無線ではなく、通信キャリア網などの代替手段が利用できるIP無線機へ更改することとしました。

○整備予定台数

避難所等施設	17	消防団	9
本部・職員	17	消防関係	2

○スケジュール 令和7年7月から運用開始予定です。

○総合計画との関連 **防災：地域防災力の強化**

防災設備を更新することで、防災体制を強化します。



～活気のあるむらづくり①～

《新規》村公式ホームページをリニューアルします【企画課】

○事業名・予算 村ホームページ事業 ホームページ再構築委託 2,240万円

○概要 **飛島村公式ホームページをリニューアルし、閲覧者の皆様にとって利便性の高いホームページへ再構築します。**

現在のホームページは、前回の更新から約10年が経過しました。リニューアル後は、パソコン・モバイル端末（スマートフォン）など、それぞれに適した画面サイズで表示可能となり、閲覧・操作がしやすいデザインとなります。

今後も飛島村の魅力を発信するとともに、災害時にも安定的に情報発信ができるホームページづくりを目指します。

○スケジュール 令和8年2月にリニューアル予定です。

○総合計画との関連 **行政サービス：行政サービスの充実**

情報発信手段の適正化とともに、その発信力強化に努め、令和9年度までに村公式ホームページのアクセス数を年500,000PVに増やすことを目標とします。

（令和5年度実績：300,000PV）

※PV（ページビュー）：Webサイトのアクセス数



（現在の村公式ホームページ）

～活気のあるむらづくり②～

《新規》すこやかセンターにWi-Fiを設置します【保健環境課】

○事業名・予算 すこやかセンター管理事業 施設補修工事 593万円のうち
Wi-Fi機器等設置工事 283万円

○概要 すこやかセンターは、村内外を問わず、多世代の方が利用される施設です。（年間約10万人）
また、同施設は、災害時医療救護所に指定されていることから、**Wi-Fiを設置することで利用者の利便性向上に加え、防災体制の強化**を図ります。

すこやかセンター内施設一覧

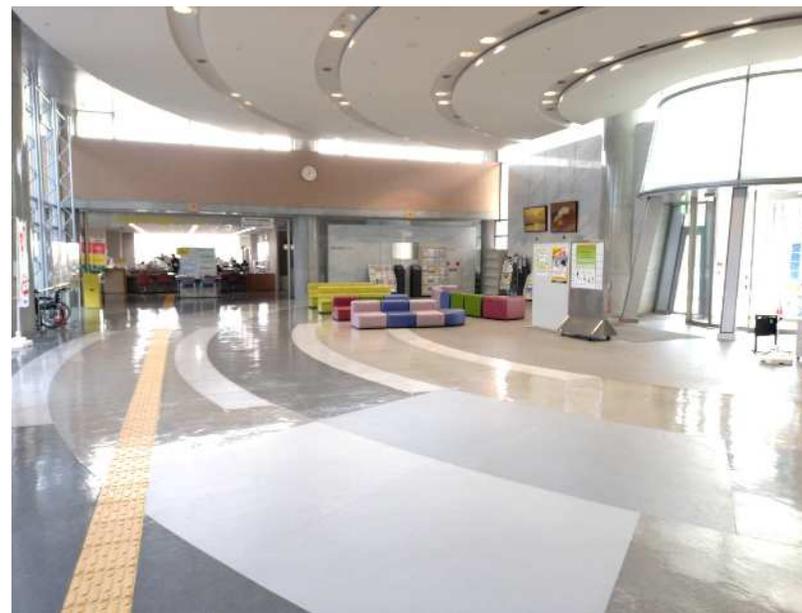
温水プール、図書館、トレーニングルーム、
児童館、保健センター、地域包括支援センター

○設置時期 令和7年9月から運用開始予定です。

○総合計画との関連

高度情報通信：高度情報通信の環境づくり

施設にWi-Fiを設置することで、利便性の向上を高めます。



（すこやかセンター）

～**活気のある**むらづくり③～

《**継続**》観光交流協会による賑わいのある村づくりを行います【企画課】

○事業名・予算 企画管理事務事業 飛島村観光交流協会補助金 2,597万円

○概要 飛島村観光交流協会へ補助金を交付し、賑わいのある村づくりを行います。

○飛島村観光交流協会が予定している主な事業

・**とびしま宵あかりの開催**

風鈴とイルミネーションを組み合わせたイベントです。
夏季イベントとして定着させ、継続的に展開します。

・**トビシマクルーズの実施**

飛島ふ頭を周遊し臨海部の工場夜景の魅力を発信するクルーズ事業です。(とびしま宵あかり)
秋季イベントとして継続的に展開します。

・**イルミネーション「トビシマライツ」の開催**

冬季イベントとして、令和2年度から開催しています。
令和4年度からは、「竹あかり」をはじめ「美濃和紙あかり」や「希莉光あかり」などを展示しています。

・**とびしまルシェの開催**

飛島村の魅力を村内外にPRし、地域経済の活性化を図ります。

・**各種イベント出展など**

○総合計画との関連

観光交流・プロモーション：観光交流・プロモーションの推進
郷土愛の醸成、村内外の人が集う場所、機会の創出を進めます。



(とびしまルシェ)

(トビシマクルーズ)

(トビシマライツ)

～**活気のある**むらづくり④～

《継続》ふれあいの郷を観光交流拠点として再編するための
整備方針を決定します【整備推進課】

○事業名・予算 ふれあいの郷再編事業 アドバイザリー委託 2,701万円（外に債務負担行為 918万円）

○概要 **ふれあいの郷を観光交流拠点として再編整備するための事業費・事業スキーム等を精査し、整備方針を決定**
します。

再編後の施設は、民間のノウハウを最大限に活用した官民連携の手法により、村に活気や魅力、さらに経済効果を生み出すことができる仕組みや仕掛けを兼ね備えるとともに、村内外から人が集まり、多世代が楽しめるような施設を目指します。

令和7年度は、基本計画で定めた整備計画案を精査して整備方針を決定し、事業者募集のための公募条件を整理します。

施設の供用開始は、令和11年度以降を予定しています。



（ふれあいの郷）

○総合計画との関連

観光交流・プロモーション：観光交流・プロモーションの推進
観光交流拠点の整備を実施します。

～**活気のある**むらづくり⑤～

《継続》全世帯へ1万円分の商品券を配布します【総務課】

○事業名・予算 物価高騰対策事業 商品券交付関連予算 2,194万円（※繰越事業）

○概要 エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている村民の皆様の生活支援及び地域経済の活性化を図るため、令和7年度においても、令和4～6年度に引き続き、**村の全世帯へ「物価高騰対策商品券」を配布**します。

額面 : 1万円（500円20枚綴り）
配布数 : 1世帯1セット
使用期間 : 令和7年9月～令和8年2月（予定）

※令和6年度に補正予算として計上し、令和7年度に予算を繰り越して実施します。
また、当該事業は、国の補助金である物価高騰対応地方創生臨時交付金（947万円）を活用して実施します。



（令和6年度商品券）

～活気のあるむらづくり⑥～

《継続》プレミアム付き商品券発行事業を支援します【経済課】

○事業名・予算 商工団体活動助成事業 商品券発行等対策費 524万円

○概要 物価高騰の影響により低迷した地域経済を活性化させるため、商工会の実施するプレミアム付き商品券発行事業を引き続き支援します。

令和7年度においても、昨年度に引き続き**プレミアム率を20%**とし、**4,000冊**を発行します。

販売価格：1冊5,000円
(500円×12枚セット 6,000円分)

発行冊数：4,000冊

発行者：飛島村商工会



(令和6年度商品券)

○総合計画との関連 **商業：商業の充実**

商工業振興の先導役である商工会への支援を継続し、創業、経営、事業継続支援を連携して行います。

～活気のあるむらづくり⑦～

《新規》新たに農業を始める方を支援します【経済課】

○事業名・予算 農業振興管理事業 新規就農者交付金 100万円

○概要 新たに農業を始めようとする方の経営が早期に安定し、本村の農業の担い手として定着することを狙い、**認定新規就農者や親元就農者に対して支援金を交付**します。

畑の担い手の高齢化や後継者不足により、畑の管理を行えず、耕作放棄地になるおそれがあるため、支援金制度を創設することで、農地の保全を図ります。

○交付要件 村に住所を有し、村内で農業に従事される55歳未満の方
農業に5年以上従事する意思がある方

○交付額 1人あたり最大50万円

○総合計画との関連 **農業・水産業：農業・水産業の振興**

農地の規模の大きさに関わらず、担い手不足となっている畑についても担い手の掘り起こしを行います。



～活気のあるむらづくり⑧～

《継続》 役場北側駐車場の舗装を直します【総務課】

○事業名・予算 庁舎等維持管理事業 駐車場等補修工事 2,805万円

令和7年度補修箇所

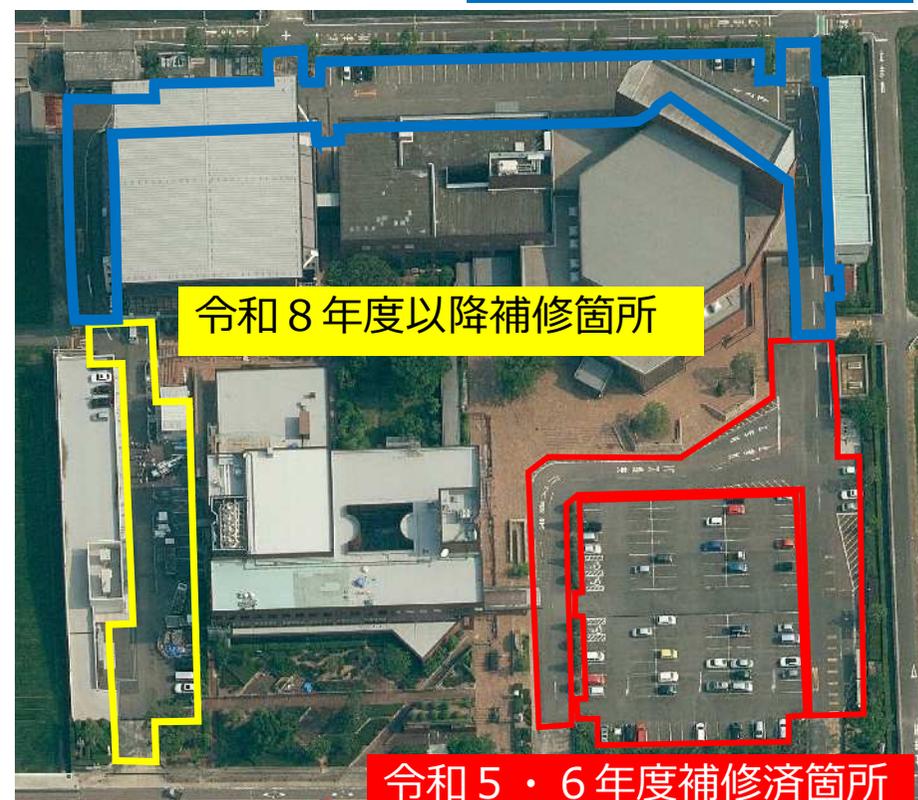
○概要 役場駐車場は、庁舎が竣工した昭和58年からこれまでに軽度の修繕を行ってきましたが、近年経年劣化による舗装の割れや地盤沈下による側溝の段差などが散見されるようになってきました。

そのため、令和5年度から計画的に補修を実施しており、**令和7年度は、北側駐車場の舗装補修**を行います。

また、西側駐車場については、令和8年度以降に順次補修する予定です。

過去の補修

- ・ 令和5年度：東側駐車場の舗装補修
(約2,590㎡) 及び側溝入替
- ・ 令和6年度：東側バスレーンの舗装補修
(約2,000㎡) 及び側溝補修



(役場駐車場補修工事計画)

～魅力のあるむらづくり①～

《新規》 敬老センターのトイレを改修します【敬老センター】

○事業名・予算 社会福祉施設維持管理事業 敬老センタートイレ改修工事 1,980万円

○概要 **敬老センタートイレ**を利用しやすい環境にするため、**改修工事を実施**します。

主な工事内容は、以下のとおりです。

- ・各トイレのバリアフリー化（段差解消）
- ・男女トイレ内に天井までの間仕切り設置
- ・LED照明（人感センサーライト）への更新
- ・多目的トイレの拡張
- ・和式トイレの洋式化
- ・緊急時の呼び出し装置灯の設置

○スケジュール 令和7年7月から11月にかけて改修工事を行う予定です。



(多目的トイレ)



(男性トイレ) 20

～魅力のあるむらづくり③～

《継続》新規住宅地開発のための造成工事を行います【整備推進課】

- 事業名・予算 宅地造成事業特別会計
宅地造成総務管理事業 宅地造成工事 1億5,342万円（2か年総額）
（内訳 令和7年度：2,887万円 令和8年度：1億2,455万円）

- 概要 **旧中学校野球場跡地（竹之郷地区）を活用した住宅地開発のための造成工事**を行います。
令和7年度は、防球ネット等の撤去、敷地造成（仮設沈砂池、掘削盛土）、一部道路整備を行います。

- スケジュール 令和5年度 基本設計
令和6年度 実施設計・地区計画策定
令和7～8年度 整備工事（R7.6～R8.10）
令和8年度以降 分譲開始予定（21区画）

- その他関連工事 集落排水管布設工事、水道管布設工事

- 総合計画との関連 **土地利用：効果的な土地利用**

転入増加・転出抑制のため、新規住宅地を整備します。



（分譲予定区画）

～魅力のあるむらづくり④～

《継続》 図書館において様々なイベントを実施します【図書館】

○事業名 図書館活動推進事業

○概要 こどもから大人まで年齢を問わず、図書館の魅力を情報発信し利用促進を図ります。

○予定している主なイベント

・ (子ども向け) こどもとしょかんまつり【4月12日】

目的: 「子ども読書の日 (毎年4月23日)」 の記念事業として、
“絵本の楽しさ”を伝える。

内容: 「おはなし会・人形劇」読み聞かせボランティア
(3グループ)、「似顔絵教室 (仮)」等を予定

・ (大人向け) 大人のための一日図書館満喫体験【12月】

目的: 気軽に図書館を利用するきっかけづくり

内容: 「これからの人生を豊かにするための講座」

「大人のためのおりがみ教室」

「ブックカバーフィルム貼り体験」等を予定



(令和6年度
こどもとしょかんまつりの様子)

～人づくりによるむらづくり①～

《新規》飛島学園体育館の空調設置工事を行います【教育課】

- 事業名・予算 施設維持管理事業 学園アリーナ空調設置工事 1億3,530万円
学園アリーナ空調設置工事監理委託 396万円

- 概要 地球温暖化等の気候変動に対応し、安全・快適な教育環境及び災害時に避難所となった際の生活環境の整備のため、**飛島学園アリーナ（体育館）の空調設置工事**を行います。

経済産業省が補助を行っている一般財団法人エルピーガス振興センターが実施する補助金（補助率1/2、上限額3,000万円）を活用し、**災害時でも3日間程度稼働可能なプロパンガスを使用する空調設備を設置**します。

- スケジュール 令和7年10月から設置工事を行い、令和8年3月頃から稼働を予定しています。

- 総合計画との関連 **学校教育：学校教育の充実**

飛島学園アリーナ（体育館）の空調設備の導入を進めます。



(飛島学園アリーナ)

～人づくりによるむらづくり②～

《継続》 飛島学園のICT機器を更新します【教育課】

○事業名・予算 教育振興事業 教育ICT支援システム関連予算 8,240万円

○概要 令和3年3月から運用を開始した**飛島学園のタブレット端末等のICT機器を更新**します。

更新後のICT機器については、令和8年3月から令和13年2月まで使用する予定です。

○主な事業内容

- ・タブレット端末、ネットワーク機器等の借上及び保守
- ・インターネット回線等の使用料
- ・英会話アプリの導入
- ・ICT機器を活用した授業の支援委託

○総合計画との関連 **学校教育：学校教育の充実**

ICT（情報通信技術）の活用により、国際社会において生き抜く力の醸成に取り組みます。



(ICT機器を活用した授業)

～人づくりによるむらづくり③～

《拡充》飛島学園の英語教育を充実させます【教育課】

○事業名・予算 教育振興事業 外国語教育推進委託 244万円

○概要 令和5年度から英語での実践的コミュニケーション能力を高めるため、海外の英語講師とオンラインによるマンツーマンの会話トレーニングを始めました。

令和7年度は回数を増やし、更なる英語教育の充実を図ります。

令和7年度実施予定

- ・5～7年生 各クラス4回（夏期2回、冬期2回）
- ・8年生 各クラス5回（夏期3回、冬期2回）
- ・9年生 各クラス3回（夏期3回）

○総合計画との関連 **学校教育：学校教育の充実**

海外派遣を視野に入れた英語教育を推進します。



(オンライン英会話)

～人づくりによるむらづくり④～

《継続》 中学2年生を対象とした海外派遣事業を実施します【生涯教育課】

○事業名・予算 海外派遣事業（中学生） 海外派遣事業関連予算 3,086万円

○概要 交流やホームステイなど、外国の文化、歴史、習慣等に直接触れることにより、異文化との共生、協調の重要性を学び、**国際社会で活躍する人材育成及び語学力向上**を図ります。

○内容

- ・事前学習（英会話講座、ホームステイ事前研修等）
- ・本研修（ホームステイ、学校交流、SDGs研修等）
- ・事後学習（レポート作成、発表報告）

○行き先 オーストラリア（ケアンズ）

○対象者 村内在住の中学2年生

○実施日 令和7年8月7日～13日（5泊7日）

○総合計画との関連 **多様な人材の活躍・育成：多様な人材の活躍・育成の推進**

今後も継続して実施することで、国際社会で活躍する人材育成に取り組みます。



（学校交流の様子）

～人づくりによるむらづくり⑤～

《拡充》減農薬野菜（特別栽培農産物）や無添加食材を積極的に使用した給食を提供します【教育課】

○事業名・予算 給食事業 賄材料費 83万円のうち35万円
※減農薬野菜（特別栽培農産物）・無添加食材を調達するための予算です。

○概要 給食を通じた食育の推進や、健やかな心身の育成を図るため、飛島学園において**減農薬野菜（特別栽培農産物）や無添加食材**を積極的に使用した給食を提供します。
年9回（前年度8回）の実施を予定しています。

○総合計画との関連 **学校教育：学校教育の充実**
令和9年度までに減農薬野菜（特別栽培農産物）を使用した給食を年10回実施することを目標とします。



（飛島村の名産ほうれん草）

～人づくりによるむらづくり⑥～

《新規》「いきがい教育講演会」を実施します【生涯教育課】

○事業名・予算 いきがい教育推進事業 いきがい教育講演会等委託 243万円

○概要 これまで、「年輪のつどい」として実施してきた行事を新たに「**いきがい教育講演会**」として再構築します。
事業の趣旨は変更せず、事業内容及び対象者を見直すことで、参加者の増加を図ります。

○内容 長寿化社会の中で、これからのいきがいと充実した生活のヒントとしていただくために、「**人生**」をテーマとした講演会を実施します。
また、同世代で集い親睦を深めることにより、今後の人生を充実したものにするための機会を提供します。

○対象者 およそ60歳～70歳代の方

○開催時期 令和8年2月予定



～人づくりによるむらづくり⑦～

《新規》子育て支援アプリを導入します【保健環境課】

- 事業名・予算 母子保健対策事業 母子アプリケーションシステム導入費 27万円
母子アプリケーションシステム借上料 39万円

- 概要 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を充実させるため、**「子育て支援アプリ」を導入**します。

ライフスタイルの多様化による子育て世代のニーズの変化を踏まえ、ICTを活用した一人一人の状況に合わせた**子育て情報の発信や各種ツールを提供**します。

- 主な内容
- ・おやこ手帳：メール配信・プッシュ機能、電子母子手帳機能、予防接種AIスケジューラー、多言語翻訳機能
 - ・予約：オンラインでのイベント、教室等の予約

- 導入時期 令和7年5月から利用開始予定です。

- 総合計画との関連 **子育て支援：子育て支援の充実**

切れ目ない子育て支援体制を充実させるため、必要と考えられる子育て支援サービスとのマッチングを進めます。



～人づくりによるむらづくり⑧～

《拡充》村からの発信情報を多言語化対応します【関係課】

○事業名 図書館管理運営事業 図書館パンフレット外国語翻訳及び印刷 他

○概要 本村で暮らす外国人は年々増加しており、現在は人口の約1割を外国人が占めています。

村から発信する情報を多言語化することで、外国人が地域の一員として不安なく暮らすことができる共生社会を推進します。

○主な多言語化する情報

令和7年度から新たに実施

- ・図書館利用案内パンフレット
- ・文化協会パンフレット
- ・子育て支援アプリ

その他過去から実施済み

- ・村公式ホームページ
- ・ごみ分別アプリ「さんあ～る」
- ・防災アプリ

○総合計画との関連 **多様な人材の活躍・育成：多様な人材の活躍・育成の推進**

村広報誌や村公式ホームページにおいて、外国人向けのページを設定し、村情報の発信力を強化します。



4 一般会計の財政数値の推移

(単位：千円、%)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
当初予算額	4,340,000	6,480,000	5,250,000	5,970,000	4,630,000	6,340,000	6,390,000	5,390,000	5,550,000	6,297,000
歳入決算額	9,811,771	6,846,768	6,231,292	6,312,612	7,073,091	6,464,331	6,830,252	5,855,465	-	-
うち地方税	3,938,510	3,888,995	4,017,729	4,117,327	4,131,363	3,893,595	4,359,432	4,076,947	-	-
歳出決算額	9,198,022	6,341,154	5,661,629	5,345,978	6,569,682	5,816,136	6,435,155	5,536,903	-	-

年度末基金残高	8,938,318	8,168,792	7,717,808	7,261,722	7,886,842	7,506,082	7,280,875	7,907,918	8,188,048	-
財政調整基金	879,649	877,842	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	-
減債基金	28,019	28,113	28,182	28,257	28,329	28,386	28,429	28,473	28,526	-
特定目的基金	8,030,650	7,262,837	6,789,626	6,333,465	6,958,513	6,577,696	6,352,446	6,979,445	7,259,522	-

(見込)

地方債残高	61,478	172,930	161,425	149,607	137,469	117,648	110,296	102,944	95,592	88,240
-------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	--------

(見込)

(見込)

経常収支比率	68.3	68.8	68.2	69.9	67.6	73.6	68.7	74.7	-	-
--------	------	------	------	------	------	------	------	------	---	---

実質公債費比率	0.0	△ 0.9	△ 1.3	△ 1.3	△ 1.2	△ 0.9	△ 0.8	△ 0.6	-	-
---------	-----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---	---

基準財政需要額	1,575,350	1,553,806	1,544,876	1,542,656	1,621,430	1,821,080	1,816,643	1,816,517	1,849,291	-
基準財政収入額	3,379,115	3,421,033	3,390,881	3,463,445	3,531,581	3,405,132	3,648,336	3,538,096	3,732,706	-
財政力指数	2.114	2.153	2.181	2.214	2.206	2.098	2.019	1.942	1.991	-
標準財政規模	4,398,215	4,470,963	4,401,645	4,499,589	4,601,872	4,433,179	4,771,035	4,607,500	4,872,371	-

※平成28年度、令和2年度及び令和6年度当初予算は、村長選挙のため政策的経費を除いた骨格予算を編成した。

※実質公債費比率及び財政力指数は、3か年平均である。

5 用語説明

○経常収支比率

地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費等のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補てん債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合。

この指標は、経常的経費に経常一般財源収入がどの程度充当されているかを見るものであり、比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを表す。

○実質公債費比率

地方公共団体の一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の財政規模を基本とした額に対する比率。借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示す指標ともいえる。

○基準財政需要額

普通交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が、合理的かつ妥当な水準における行政を行い、又は施設を維持するための財政需要を算定するものであり、各行政項目ごとに、次の算式により算出される。

$$\begin{array}{ccccc} \text{単位費用} & \times & \text{測定単位} & \times & \text{補正係数} \\ \text{(測定単位 1 当たり費用)} & & \text{(人口・面積等)} & & \text{(寒冷地補正等)} \end{array}$$

○基準財政収入額

普通交付税の算定に用いるもので、各地方公共団体の財政力を合理的に測定するために、標準的な状態において徴収が見込まれる税収入を一定の方法によって算定するものであり、次の算式により算出される。

$$\text{標準的な地方税収入} \times 75/100 + \text{地方譲与税等}$$

○財政力指数

地方公共団体の財政力を示す数値で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる。1.00を超える自治体は、普通交付税不交付団体となる。

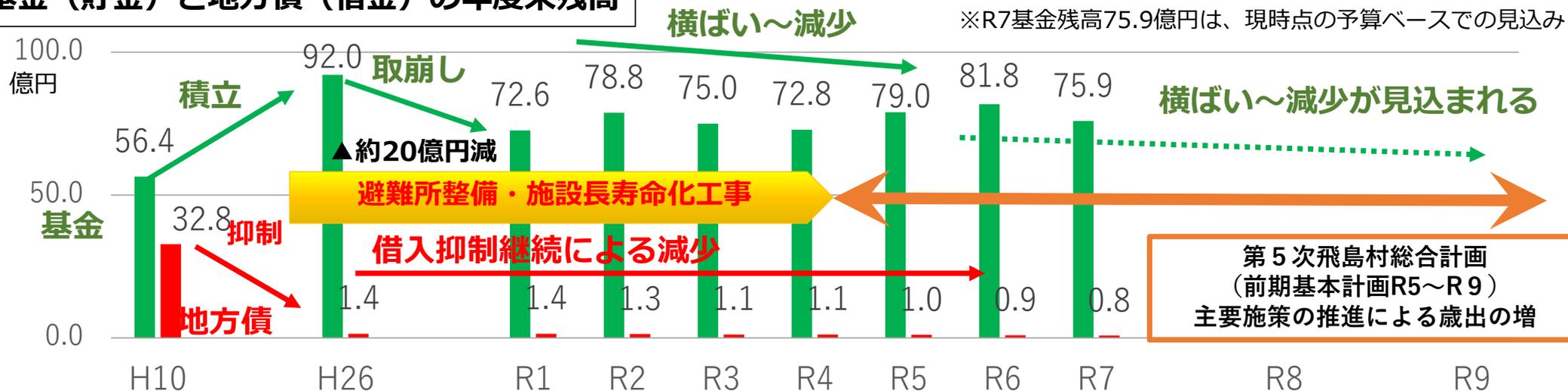
○標準財政規模

地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう經常的一般財源の規模を示すもので、標準税収入額等に普通交付税と臨時財政対策債発行可能額を加算した額。標準税収入額等は、次の算式により算出される。

$$\begin{aligned} & (\text{基準財政収入額} - \text{地方譲与税} - \text{交通安全対策特別交付金}) \times 100/75 \\ & + \text{地方譲与税} + \text{交通安全対策特別交付金} \end{aligned}$$

6 一般会計の財政状況

基金（貯金）と地方債（借金）の年度末残高



財政健全化努力

- ・ 地方債借入抑制継続により、健全な財務体制維持努力
- ・ 補助金の効果的な申請と活用

基金取崩し継続

- ・ R7年度予算：基金繰入6.1億円 = 予算総額の9.7%相当
- ・ 基金取崩し常態化により、残高は減少傾向
- ・ 過去約10年間で基金を財源として避難所整備及び公共施設長寿命化工事を実施

今後の基金残高見込み

- ・ 第5次飛島村総合計画（前期基本計画R5～R9）
- ・ 今後も総合計画の主要施策推進のため、整備費等の増加により基金の取り崩しが見込まれる

**財務体質強化が必要
= 経費削減、新旧事業精査**

○総括

本村の財政基盤は、臨海部からの固定資産税を始めとした村税収入が中心であり、歳入構成の大部分を占めています。そして、地方公共団体の財政力を示す数値である財政力指数は1.00を超えており、国からの普通交付税が交付されない不交付団体です。また、地方債においては、将来世代に負担を残さないように新規の借入れを抑制していることから、人口1人当たりの残高は極めて少なくなっています。よって、本村は他団体と比較しても、過去から健全な財政状況を維持しているといえます。

しかし、基金残高においては、近年の大規模事業や主要施策により減少しています。令和7年度予算においても、基金から約6.1億円を取り崩す編成となりました。経常的にかかる費用も増加傾向にあるため、今後とも将来にわたり持続可能な行財政運営を確立するよう努めていく必要があります。

(1) 地方税（村税）収入について

本村の地方税（村税）収入は、過去から増加傾向にあり、コロナ禍においても堅調に推移してきました。これは、本村の税収入の約8割を占める固定資産税が、景気に左右されにくい安定的な性質を持っているためです。その一方、村民税のうち法人村民税は、国による法人課税の税制改正により減少しています。これは、地域間の税の偏在是正を目的とする措置で、財政力が低い地域に税を配分する仕組みです。また、個人村民税においても人口減少や少子高齢化が進むと減少していくこととなるため、今後の先行きは楽観できない状況です。

(単位：千円)

	平成5年度	平成10年度	平成15年度	平成20年度	平成26年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
地方税決算額	3,454,206	3,514,946	3,404,733	4,098,873	4,017,105	4,117,327	4,131,363	3,893,595	4,359,432	4,076,947

(2) 地方債と基金について

※家計で例えると「地方債＝借金」、「基金＝貯金」です

地方債は、新規の借り入れを抑制しているため減少しています。本村は、「将来世代に負担を残さないため」、「借り入れによって生じる利子の支払いを避けるため」に過去からこれらの方針により財政運営を行ってきました。そのため、人口1人当たりの残高は、他団体と比較して極めて少ない状況となっています。現在の一般会計は、平成29年度にすこやかセンター大規模改修工事のために借り入れた地方債（借入額：1億2,500万円）の償還のみが残っています。

その一方で、多額の費用を要する事業は、地方債を借り入れずに国庫補助金の活用及び基金を取り崩すことにより実施してきました。よって、基金残高は、ピークであった平成26年度末には約92億円ありましたが、令和5年度末では約79億円まで減少しています。この期間は、津波一時避難所整備や主要な公共施設の長寿命化のための大規模改修工事などを集中的に実施してきました。令和6年度は、村税収入の上振れになどより、約2.8億円を積み立てることができましたが、この10年間では約10億円減少しています。

年度	主な事業	工事費
H25	南拠点避難所改修	1.3億
H26	三福避難所建設	2.9億
	大宝避難所建設	4.9億
H27	北拠点避難所建設	9.8億
H28	新政成避難所建設	6.3億
H29	すこやかセンター改修	7.2億
	服岡避難所建設	4.7億
H30	総合体育館改修	5.5億
R1	役場庁舎改修（第1期）	3.2億
R2	役場庁舎改修（第2期）	6.8億
R3	第一保育所改修	3.2億
	梅之郷避難所建設	5.4億
R4	中央公民館等改修	11.8億
R6	聖苑大規模改修（※）	3.6億

※決算見込み

避難所整備（着色部分）は国庫補助金を活用

（単位：千円）

	平成5年度	平成10年度	平成15年度	平成20年度	平成26年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）
地方債残高	1,555,593	3,288,883	1,831,741	835,941	136,736	149,607	137,469	117,648	110,296	102,944	95,592
基金残高	6,991,483	5,643,620	5,287,108	8,399,627	9,204,934	7,261,722	7,886,842	7,506,082	7,280,875	7,907,918	8,188,048

(3) 今後の見込みについて

現在、本村は、令和5年度からスタートした第5次飛島村総合計画に掲げている施策の実現に向けたむらづくりに取り組んでいます。総合計画の主要施策には、「ふれあいの郷再編」、「新規住宅地整備」、「運動の森公園を中心とした総合的な公園整備」などを掲げており、事業推進に向けた予算を投入していきます。また、これまで整備した公共施設の維持管理費、GIGAスクール構想（学校における1人1台端末、通信ネットワーク環境など）を始めとした各種DX関連経費、少子高齢化等による社会保障費の増加などにより、経常的な経費は今後も増加し続けていくことが予想されます。

今後も、むらづくりのテーマである「災害に強い」「活気」「魅力」「人づくり」を進めるため、①将来にわたり持続可能な行財政基盤の確立、②財務体質の強化に取り組んでいきます。

①将来にわたり持続可能な行財政基盤の確立

人口減対策

活気あふれるにぎやかな村であり続けるため、若者世代の移住・定住策を推進します。

現在実施している住宅地開発を進めるとともに、安心して子どもを産み育てられるよう、子育て支援の充実を進めます。

持続的な企業活動への支援

各企業が村内で事業活動を継続的に行っていただき、より一層発展されるよう、企業活動の基盤を支えます。

②財務体質の強化

住民ニーズに対応した施策の展開

新規事業においては、既成概念に捉われず、住民の幸せを最優先に考えるとともに、最小の経費で最大の効果を上げられるよう事業の選択と予算額を決定します。

既存事業においては、事業の目的や時限を見極め、事業内容や対象を見直し又は統合することで、経費の削減を図ります。

適切な基金管理

基金は、村の発展のための大規模事業や、大災害時の対応費用（仮設住宅、生活支援、復旧復興等）の際に使用する必要があるため、毎年の取り崩し額や残高に十分注意しながら適切に管理していきます。



活気・魅力・人づくりの村

とびしま



作成：飛島村総務部総務課

〒490-1436

愛知県海部郡飛島村竹之郷三丁目1番地

TEL 0567-97-3461 (直通)

Eメール：tb-soumu@vill.tobishima.lg.jp

ホームページ：<https://www.vill.tobishima.aichi.jp/>

飛島村キャラクター
「とびしマン」